

謹賀新年

2016年元旦

かくしん News 千葉

千葉県革新懇ニュース

発行 革新と正義のための
千葉県の会
千葉市中央区長洲1-10-8
自治体福祉センター3階
電話 043-224-8821
FAX 043-221-0138



元千葉県議会議員（緑区選挙区）、「とけ9条の会」

川本幸立さんに聞く

かわもとゆきたつ

立憲主義否定の政権を

〇7年から一期県議会議員を務められ、現在も戦争・核発電・貧困・差別への幅広い市民運動に取り組まれている川本幸立さんに、日頃の活動と戦争法廃止の国民連合政府の提案についてなど縦横に語っていただきました。

を屈指して数十人で「フット技術者の会」を立ち上げ、各自の専門性を活かした様々な提言を発信し続けています。

実は、二十代後半に、当

●二十代に学んだ 人権思想から市民運動へ

兵庫県伊丹市の出身で、フット会社に就職して千葉にきました。独立して会社を営むまでの約1年間、労働組合の職場評議員や青婦部の教習部長として

春闘や残業闘争に関わり、「会社派」に抗して役員選挙にも立候補もしました。会社から仕事を干されたり市民運動をやめるよう圧力を受けたりしましたが、組合を立ち上げた人々との交流は今でも続き、3.11後には脱原発・再稼働STOP

時ベトナム反戦運動や核廃絶運動の実践的哲学者だった芝田進午先生と出会い、「核による人類絶滅危機の時代の人権思想」や日本国憲法13条の「個人の尊厳」の意義、歴史的遺囑を学んだことが、私の活動の原点です。先生の好きな言葉

我々の義務と権利

らひとつ紹介しましょう。
 上 「政府の目的は『生命・
 し 自由・幸福追求の権利』を
 け 実現すること。したがって
 目的に反する政府に対して、
 当 人民には『革命(抵抗)の
 廃 権利と義務』がある」(ア
 つ メリカ独立宣言)。
 の 芝田先生はその後、バ
 の イチ施設の法的・社会的規
 国 制を目指した全国センター
 を 共に立ち上げ、先生がこ
 ん くなられるまで、指導を受
 点 けました。
 を

● 県議会活動から 市民自治の仕組 みづくりの必要 性を痛感

私が地域で市民運動に取
 り組むきっかけは、拙著で
 町内自治会の役員になり地
 域の様々な人々との交流の
 輪ができたことです。産廃
 処分場、遺骨子組織の研究
 施設、千葉の原風景(二谷
 津田・甲山)を破壊する大
 規模な問題として組織を
 つくり、行政、議会、地域
 住民、企業に働きかけまし

た。そして知ったのは、憲
 法の条が規定する「地方
 自治の本旨」(一人権保障
 と民主主義の実現)から程
 遠い、行政や議会の実態で
 した。
 04年に当時「県政界の
 ト」と言われた地元の特
 議の税不正事件が発覚し、
 私は千葉市徴税事務の事務
 監査を求める直接請求運動
 に取り組みました。ところが
 が事件で辞職した元議員が
 07年の選挙で立候補する
 といつて急選、私が推さ

● 立憲主義を取り 戻す国民連合政府 樹立の決意に感銘

「とけ・九条の会」では
 06年の設立時から世話人
 をしています。戦争法案に
 ついては、7月に「安全保
 障関連法案の会期前成立の
 断念と速やかな廃案、及び
 解釈改憲を否認した閣議決
 定の白紙撤回を求める」要
 望書を作成し国会議員らに
 届けました。先の全国交流
 会での志位さんの国民連合
 政府樹立への並々ならぬ決

めて憤りを感じました。
 この状況を変えるには当
 事者である住民(市民)自
 身が自治の担い手として自
 治体運営の意思決定に直接
 参加しながら自分たちの生
 活を作り出していくこと、
 つまり「市民自治」(憲法
 第8章「地方自治」)を实
 現していくが他に方法ほ
 ありません。議会や行政を
 正すのは市民の役割であり、
 その力には市民間の率直な
 対話です。

● 立憲主義を取り 戻す国民連合政府 樹立の決意に感銘

「とけ・九条の会」では
 06年の設立時から世話人
 をしています。戦争法案に
 ついては、7月に「安全保
 障関連法案の会期前成立の
 断念と速やかな廃案、及び
 解釈改憲を否認した閣議決
 定の白紙撤回を求める」要
 望書を作成し国会議員らに
 届けました。先の全国交流
 会での志位さんの国民連合
 政府樹立への並々ならぬ決

**安倍政権は倒せる
 戦争法廃止の政府をとともに**

● 日時 3月21日(月) 午後1時30分開始
 ● 会場 千葉県教育会館大ホール
 ● 講演 小林節(慶応大学名誉教授)
 ● 主催 千葉県革新懇

意を聞き感銘を受けました。
 ですから共産党の国民連合
 政府樹立の呼びかけには諸
 手を挙げて賛同します。

「国民の人権を守るため
 憲法によって権力に歯止め
 をかける」という思想であ
 る立憲主義を破壊した安倍
 自公政権の目標は、「国」
 を個人の上に置く戦前の国
 家体制への回帰であり、戦
 争・原発(二核発電)に依
 存した「命よりも金の経済
 成長」です。私たちはまず
 立憲主義を取り戻さねばな
 りません。憲法前文、12
 条に基づき、立憲主義肯定
 の政権を変えるのは私たち
 の義務と権利です。

日頃は2匹の猫に癒され、
 軽い運動と一日の食を健康
 茨として過しています。
 (聞き手・柴田/写真・
 谷々崎)